

2024. 6.6. Thu. 18:30 - 20:30

立教大学 池袋キャンパス 8号館 8101 教室



対面とオンラインのハイブリッド開催

定員 対面：450人／オンライン：1000人

←お申し込みはこちら <http://s.rikkyo.ac.jp/da21664>

締切：6月4日（火）

〈エコフェミニズム〉は1974年にフランスで誕生してから今年で50周年を迎える。エコフェミニズムはジェンダー平等と環境問題解決を中心に沿えた平和思想であるにも関わらず、日本のみならず世界各国で数々の“誤解”に晒されてきた。本公開講演会では、日本のエコフェミニズムを理論・実践の両面から牽引してきた萩原なつ子氏、著書『人新世の「資本論」』で知られ、エコフェミニズムにも高い関心を抱かれている斎藤幸平氏、日本のエコフェミニズムを系譜学的に研究している森田系太郎氏の3人をパネリストとして迎え、人新世・SDGs時代における〈エコフェミニズム〉の意義を再考することを目的とする。

萩原なつ子氏 × 斎藤幸平氏 × 森田系太郎氏

立教大学名誉教授

国立女性教育会館理事長

東京大学准教授

立教大学兼任講師



(C) 山田大輔



(C) 島本絵梨佳



プログラム

1. 萩原なつ子氏「エコフェミニズムとの出会い—環境とジェンダーの交差—」
2. 森田系太郎氏「日本のエコフェミニズムの40年」
3. 斎藤幸平氏「なぜいま、エコフェミニズムなのか」
4. 鼎談「エコフェミニズム再考」
5. 質疑応答

司会：倉本由紀子（立教大学大学院社会デザイン研究科教授）

主催・お問い合わせ：立教大学ジェンダーフォーラム

TEL：03-3985-2307 E-mail：gender@rikkyo.ac.jp

<https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/gender/>

共催：立教大学大学院社会デザイン研究科

